

初期実習 実習要項

2023



日本医療大学

保健医療学部 看護学科

学籍番号

氏名

初期実習

I. 実習概要

初期実習は、学内と臨地を組み合わせ実施する。臨地実習では、小規模多機能型居宅介護施設に通所、あるいは宿泊で利用する方を対象とする。主な実習内容は、保健医療福祉を支える専門職者などによる利用者への日常生活の援助やリハビリテーション、コミュニケーション技術の見学である。実習期間を通して看護学の主要概念である人間、環境（特に生活環境）、健康への関心を深め、看護学を学ぶ動機づけとする。また、看護学を学ぶ実習生としての倫理的な行動と責任ある態度を学ぶ。

II. 実習目的

1. 地域における保健・医療・福祉の活動に関心をもつ。
2. 地域で生活する高齢者や健康障害をもつ人々を知る。
3. 看護学生としての実習に臨む態度および姿勢を身につける。

III. 実習目標

1. 看護の対象が様々な健康レベルにある生活者であることを知る。
 - 1) 実習施設周辺の地域を知り、そこに住む人々の生活について述べるができる。
 - 2) 実習施設において対象者がどのように過ごしているか述べるができる。
2. 保健医療福祉の専門職者を含む様々な人々が対象者の生活を支えていることを知る。
 - 1) 対象者に関わる人や職種がどのような役割を担っているか述べるができる。
3. 看護学生としての自己の課題を明らかにできる。
 - 1) 事前準備をして実習に臨むことができる。
 - 2) 実習における心構えを述べるができる。
 - 3) 実習に必要な自己の行動の振り返りができる。
 - 4) 学内カンファレンスを通して他学生と学習内容を共有できる。
 - 5) 実習体験をふまえて今後の自己の目標を述べるができる。
4. 看護学生であることを認識し、倫理的な行動と責任ある態度をとることができる。
 - 1) 挨拶や丁寧な言葉遣いができる。
 - 2) 実習指導者、実習施設のスタッフ、教員に報告・連絡・相談ができる。
 - 3) 感染予防に努め、自らの健康管理ができる。
 - 4) 実習に関する知り得たすべての情報を遵守できる（守秘義務）。
 - 5) 実習に関する決められたルールを守ることができる。

IV. 単位認定と評価

1. 単位および実習時間

- 1) 単位数：必修 1 単位
- 2) 実習時間：45 時間（1 年生前期）

2. 評価

1) 出席状況

- (1) 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
- (2) 原則として遅刻、欠席、早退は認めない。正当な理由により、やむを得ない場合は事前に連絡をすること。
- (3) 遅刻、欠席、早退の場合は、証明書（交通機関の遅延証明、医師の診断書など）を添付して、速やかに欠席届を事務局に提出する。
- (4) 学校保健安全法施行規則第 18 条、第 19 条の出席停止により出席日数が 3 分の 2 未満の場合は、別途対応する。

2) 評価対象

- (1) 実習記録・実習レポートなどの提出状況および内容
- (2) 実習目標の到達度
- (3) 看護学生としての学習態度 以上より、評価表に基づいて評価する。

3. 単位認定

評価対象を評点化し 60 点以上を合格とする。

60 点未満の場合は不合格として、原則、当該年度に再実習は行わない。

V. 実習方法

1. 実習日程および実習時間

- 1) 実習オリエンテーション：2023 年 4 月 12 日（水）13:00～14:30（1.5 時間）
- 2) 事前学習：2023 年 4 月 20 日（木） 9:00～12:10（3 時間）
- 3) 臨地実習：2023 年 4 月 25 日（火）～27 日（木）の 3 日間
 - ① 施設実習：2 日間 9:00～13:00／13:00～17:00（計 8 時間）
 - ② フィールドワーク：1 日間 9:00～13:00（4 時間）
 - ③ 在宅学習：①②以外 9:00～13:00／13:00～17:00（計 12 時間）
- 4) 学内実習：4 月 24 日（月）9:00～17:00（8 時間）
4 月 28 日（金）9:00～17:30（8.5 時間）

2. 実習施設およびグループ番号

ノテ福祉会の25施設の小規模多機能型居宅介護施設（*看護小規模多機能型居宅介護施設）にそれぞれ2～4人のグループに分かれて行う。実習配置表は別途配布する。

地区	No	実習施設名	住所	実習グループ番号	
				Aクラス	Bクラス
第1地域・第3地域	1	ノテ 月寒西	札幌市豊平区月寒西4条6丁目1-35	1G	26G
	2	ノテ 月寒東	札幌市豊平区月寒東4条19丁目1-3	2G	27G
	3	ノテ 福住	札幌市豊平区福住2条9丁目1-32	3G	28G
	4	ノテ 西岡	札幌市豊平区西岡1条9丁目19-5	4G	29G
	5	ノテ 月寒中央	札幌市豊平区月寒西1条11丁目3-30	5G	30G
	6	ノテ 真栄	札幌市清田区真栄4条2丁目8-8	6G	31G
	7	ノテ 清田	札幌市清田区清田1条4丁目3-20	7G	32G
第2地域	8	ノテ 定山溪	札幌市南区定山溪温泉西1丁目18番地	8G	33G
	9	ノテ 山鼻	札幌市中央区南18条西8丁目1-41	9G	34G
	10	ノテ 平岸	札幌市豊平区平岸5条15丁目1番2-4	10G	35G
	11	ノテ 伏見	札幌市中央区南12条西20丁目2-28	11G	36G
	12	ノテ 豊平	札幌市豊平区豊平2条3丁目1-28	12G	37G
	13	ノテ 川沿	札幌市南区川沿1条5丁目1-15	13G	38G
	14	ノテ 真駒内 *	札幌市南区真駒内泉町3丁目1番6-2	14G	39G
第4地域	15	ノテ 北郷 *	札幌市白石区北郷1条5丁目4-48	15G	40G
	16	ノテ 菊水	札幌市白石区菊水9条2丁目3-6	16G	41G
	17	ノテ 菊水元町	札幌市白石区菊水元町7条2丁目8-12	17G	42G
	18	ノテ 元町	札幌市東区北25条東22丁目1-10	18G	43G
	19	ノテ 本通南	札幌市白石区本通9丁目南5番18号	19G	44G
第5地域	20	ノテ 平岡東	札幌市清田区平岡公園東11丁目11-6	20G	45G
	21	ノテ 北野 *	札幌市清田区北野7条2丁目9-1	21G	46G
	22	ノテ 平岡北	札幌市清田区平岡7条3丁目1-15	22G	47G
	23	ノテ 厚別もみじ台	札幌市厚別区もみじ台北6丁目2-3	23G	48G
	24	ノテ 厚別中央	札幌市厚別区厚別中央3条3丁目14-10	24G	49G
	25	ノテ 青葉町	札幌市厚別区青葉町7丁目10-10	25G	50G

記録用紙、実習ファイルなどに、実習施設名は記載しない。

グループ番号を記載するように徹底する。

(参照)

ノテ福祉会・小規模多機能介護施設 <https://www.note.or.jp/facilities-type/>

3. 実習スケジュール

1) 実習オリエンテーション

日	時間	実習項目・記録用紙	場所・担当
4月12日(水)	13:00	出席確認	講義室 1428
	13:10 ~13:50	看護学実習について ・実習の意義 ・臨地実習の開始にあたり実習の心得など 《誓約書の記載》	
	13:50 ~14:30	初期実習オリエンテーション ・初期実習要項にそって、実習目的、目標、内容 ・実習記録用紙について など	

2) 事前学習

4月20日(木)	9:00	出席確認	講義室 1428
	9:10 ~10:30	初期実習オリエンテーション補足説明 実習課題：VTR「実習の心得」(約40分) 《様式1記載》	
	10:40 ~11:10	実習課題：VTR「小規模多機能型介護施設ではたらく介護 職員」(約20分) 《様式3記載》	
	11:10 ~12:10	自己学習と記録まとめなど 《様式4記録》	

3) 臨地実習 4) 学内実習

4月24日(月) 【学内実習】 A・Bクラス合同	9:00	出席確認 身だしなみチェック	大講堂
	10:40 ~11:40	講演：「加齢に伴う日常生活と運動の意味」 講師 保健医療学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻 村上正和講師 記録まとめ 《様式2-1記載》	
	11:40 ~12:10		
	13:00 13:30 ~14:30	出席確認 講演：「小規模多機能型居宅介護施設における介護の役割」 講師 ノテ福祉会第4地域本部長ノテきくすいの里 高橋健吾施設長 記録まとめ 《様式2-2記載》	
14:30 ~16:10	フィールドワークの計画立案 ・実習施設ごとのグループワーク 記録のまとめ 《様式4》 翌日の準備 《様式5-1:本日の実習課題記載》		

日	時間	実習項目・記録用紙			
		Aクラス (1G~12G) Bクラス (38G~50G)		Aクラス (13G~25G) Bクラス (26G~37G)	
4月25日 (火) 【臨地実習】	9:00 ~13:00	フィールドワーク実習 《様式 5-1》		9:00 ~13:00	フィールドワーク実習 《様式 5-1》
	13:00 ~17:00	在宅学習		13:00 ~17:00	在宅学習
4月26日 (水) 【臨地実習】	9:00 ~13:00	施設実習 《様式 5-2》		9:00 ~13:00	在宅学習
	13:00 ~17:00	在宅学習		13:00 ~17:00	施設実習 《様式 5-2》
4月27日 (木) 【臨地実習】	9:00 ~13:00	在宅学習		9:00 ~13:00	施設実習 《様式 5-2》
	13:00 ~17:00	施設実習 《様式 5-2》		13:00 ~17:00	在宅学習
4月28日 (金) 【学内実習】 A・Bクラス合同	9:00 ~12:10	出席確認 グループごとの振り返り、記録の整理 合同カンファレンス※ (学びの報告と話し合い) 《様式 6》			
	13:00 ~16:10	レポート作成 実習記録の整理 実習ファイルの提出			
					講義室 1428 (その他)

※合同カンファレンスのグループ分けと場所は、別途配布します。

VI. 実習の具体的な内容、記録用紙

1. 実習オリエンテーション

1) 看護学実習について

- ・看護学における実習の意義
- ・実習にあたっての基本事項
- ・個人情報の取り扱い
- ・健康管理と感染時の行動
- ・学習者としての責任 など

2) 初期実習オリエンテーション

- ・初期実習概要、目的、目標
- ・実習スケジュールに基づいた実習内容
- ・学習者としての行動、態度、実習準備など

*記録用紙 様式 1

2. 事前学習

- 1) 初期実習オリエンテーション補足説明 ※「初期実習要項」を熟読して臨む。
- 2) 実習課題：VTR 視聴
 - ・「看護学生のための初めての实習ガイド」Vol.1 基本編（約 40 分）
 - ・「小規模多機能型介護施設ではたらく介護職（約 20 分）

*記録用紙 様式 3

- 3) 自分の実習施設の概要について事前に調べる。
 - ・施設の理念、特徴、構造・機能、看護・介護職員の体制、施設の居宅人数、通所サービスの利用者数など

*記録用紙 様式 3

3. 学内実習（初日）

- 1) 「加齢に伴う日常生活と運動の意味」を聴講し、高齢者を対象に行われている生活に即したりハビリテーションの実際を知る。
 - ・講師：日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科（作業療法学専攻）
村上正和講師

*記録用紙 様式 2-1

- 2) 「小規模多機能型居宅介護施設における介護の役割」を聴講し、実習施設の概要を知る。
 - ・講師：ノテ福祉会第 4 地域本部長ノテきくすいの里
高橋健吾施設長

*記録用紙 様式 2-2

4. 臨地実習

- 1) フィールドワーク：
 - ・出席状況を担当教員に報告する。
 - ・施設までの道順、所要時間、場所などの確認をする。
 - ・グループメンバーと協同し、地域の特性、生活環境の調査を行う。
 - ・そこに住む人々の視点で地域を考察する。
- 2) 施設実習：
 - ・実習開始の挨拶をする。
 - ・実習施設の概要説明（初日のみ）を聞く。
 - ・通所者の方が施設でどのように過ごされているか、また、生活援助（入浴、整容、昼食介助、運動など）を見学する。
 - ・実習の振り返りをする。
 - ・実習終了の挨拶をする。
- 3) 在宅学習
 - ・実習目的、目標に応じた実習体験や課題を整理する。
 - ・午前の在宅学習は実習の準備や自己学習を行う。
 - ・午後の在宅学習は実習記録に実習した内容を記載し振り返りをする。
また翌日の実習の準備をする。

*記録用紙 様式 5-1

*記録用紙 様式 5-2

5. 学内実習（最終日）

1) 学内カンファレンス

- ・実習施設ごとに個々の学びを報告し共有する。
- ・指定したグループ（実習施設を混合）ごとに実習体験を共有し合い、学びを深める。
- ・実習の学びを整理し、自己の今後の目標、課題を述べる。 *記録用紙 様式6

2) 実習レポート作成と実習ファイル提出

- ・下記6、7のとおりとする。

6. 実習レポートについて

1) テーマ：初期実習の体験を通して明らかになった看護学を学ぶ上での自己目標について

2) 作成方法：

A4用紙、明朝体 10.5ポイント、40字×40行、1500～1600字程度（A4用紙2枚以内）、表紙を付け、テーマ、学籍番号、氏名を記載する。

3) 評価基準：実習要項 p19 評価表（レポートの内容、体裁）を参照する。

7. 実習記録の提出について

1) 提出期限：2023年4月28日（金） 17:30まで 時間厳守

2) 提出場所：講義室 1428

3) 提出方法：

- ・不透明なA4紙ファイル（初期実習専用）を1冊用意し、背表紙と表紙に「初期実習」と明記し、「グループ番号、学籍番号、氏名」を記載する。

注意；実習施設名は記載しない

- ・実習記録は①を上にし、以下の順でA4紙ファイルに綴じて提出する。

① 出席表

② 健康管理表

③ ルーブリック評価：自己評価を記載したもの

④ 初期実習 実習記録用紙 様式1～様式6 *上から順番に並べる

⑤ 実習レポート

- ・上記①から⑤にインデックスシールをつける。④については様式別につける（配布資料の実習ファイル見本を参照のこと）

4) 提出方法の留意事項：

- ・様式2(1)と(2)は実習ファイルに綴じるものとは別にそれぞれコピーを1部用意し、講義室1428のレポート提出ボックスに提出する（穴をあけない）。
- ・記録物を見る人が見やすいように整理し綴じる。
- ・指定された提出物を期限内に提出する。正当な理由によりやむを得ず提出が遅れる場合には、必ず事前に担当教員に連絡をする。
- ・未提出は履修放棄となり、単位は認定されない。

8. 記録用紙の準備と記載ルール

- ・各記録用紙は、Teams【初期実習】の「クラス資料」ファイルにある。そこから各自でダウンロードし使用する。
- ・記録用紙への記載は、PCの使用を推奨する。手書きの場合はボールペンを使用する。

Ⅶ. 実習に関する留意事項

1. 服装

- 1) 実習施設と学内実習：大学が指示した服装とする。
 - ・無地のポロシャツ、トレーナー（色は白かパステルカラーを基調としたものにし、原色を避ける）。
 - ・名札をつける
 - ・綿パンツ、ジャージ（裾が床につかないもの。短パン、スウェット不可）
- 2) 実習施設までの通学時：
 - ・実習生用のロッカー、控室がない施設が多い。
 - ・上記1)の服装の上に上着を羽織るか、すぐ着替えられる服装で通学する。

2. 持ち物

- ・実習に必要なもの（メモ帳、実習用ファイル、筆記用具）
 - ・上靴、靴入れ袋
 - ・自分用のハンドタオル、ティッシュ
 - ・フェイスシールド（各自で用意）
 - ・マスク最低2枚（着用→施設内に入ったら取り替える→終了・帰宅用）
 - ・ビニール袋（着用したマスクの持ち帰り用）
 - ・着替えた服などを入れる袋
- *必要以上の貴重品、金品は持たない。またコンパクトにまとめる。